



▲中学生とのタウンミーティングにて

夏休みで、町なかに子どもたちの姿を多く見かけます。公共施設や公園などに子どもたちの元気な声が聞こえると、なぜか町が元気になったような気がするから不思議です。今年は例年以上に、各公共施設の夏休み行事が大人気だそうです。夏休みにしかできない経験をして、たくさん思い出をつくらせて欲しいですね。

■毎月2、3回のペースでタウンミーティングを行っています。7月は播磨・播磨南中学校、また播磨南高校の生徒さんたちと行いました。建設的な意見や提言をいただき、若い世代が町政や地域に関心を持たれていることを知り、とてもうれしく感じました。若者の意見も反映したまちづくりができればと思っています。

■タウンミーティングで「中学校給食」のことがいつも話題になります。生徒さんからも実現をという声をいただきます。播磨町教育委員会は調査と視察を重ねた結果、小学校と同じ完全給食を実施したいとの結論を出し、それに基づいて3月に予算計上しましたが否決となりました。しかし、中学校生活の3年間は短く、これ以上論議に時間を費やし、実施が遠のくことをとても残念に思います。一日も早く実現したいと思っています。今、町内の中学校においても、様々な事情からお弁当を持ってこない生徒が増えているという現実があります。給食がお弁当かを選ぶ選択性ではなく、町が食材や栄養管理をした給食を中学生全員に提供したいと思っています。ただ、両中学校に給食棟を建てるスペースが確保できないことや建設に多額の費用を要することから、今、給食が実現できる可能な方法として、調理だけは業者委託し、小学校と同様、食卓で温かく運ばれたものを配膳したいというのが町の考えです。ご家庭の愛情は是非「朝食」「夕食」に注いでいただき、「昼食」は食育の観点からも、「全員給食」とすることにご理解をいただきたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

9月の放送予定 (収録場所 加古川市)

前半 9月1日(月)~14日(日)

- 特集 たかさご万灯祭2008 (高砂市)
- ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)

後半 9月15日(月)~10月5日(日)

- 特集 ジョセフ・ヒコを尋ねて歩く (播磨町)
- ゆうゆうライフ (稲美町)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
- 火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
- 土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

わんぱくはりまっ子



はぎはら ひなと
萩原 陽斗くん(2歳)
野添城

大きく、やさしく、たくましい子になあーれ
パパ、ママより



このコーナーに出るべく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

BAN・BANテレビの行政番組「東播磨ふれあいネット」で、ジョセフ・ヒコを紹介するため、ヒコの文献を読み返しています。今年度、毎月の広報に連載しているとおり、ヒコの波乱の人生や業績は漂流と新聞だけではありません。歴史上の多くの人物と接点を持ち、攘夷と文明開化に関わっています。改めて、学校で習った日本史と世界史の授業を思い返し、さらにテレビの歴史ドラマともつながってくる、ヒコがどんな時代に生きたのかが見えてきました。今回のテレビでの紹介は、ほんの数の時間しかありませんが、皆さんにも興味を持っていただければと思います。(宮)

楽屋裏

夏休みチャレンジ教室 朝来市と交流しました

7月22日(火)、23日(水)の1泊2日の日程で、播磨町から20人の小学3・4年生の子どもたちが朝来市を訪れ、朝来市の25人の子どもたちと交流を行いました。

初日は、朝来市で魚のつかみ捕りをして、炭で塩焼きにしました。昼食後は、宿泊所に移動後、カレー作りや飯盒炊きを楽しんだ後、夜にはキャンプファイアーを行いました。

2日目は、朝来市の子どもたちを



▲捕まえたあまごを焼く準備



▲キャンプファイアーを囲みました

播磨町に招待し、秋ヶ池運動場でスナックゴルフを体験し、考古博物館でまが玉作りに挑戦して相互に親睦を深めました。

自分で自分を守る 防災キャンプ

8月6日(水)~7日(木)の1泊2日、30人の小学生が参加して防災キャンプが実施されました。

このキャンプは、災害時に知っておきたい知識を学ぶために、加古川市防災センターでの地震体験学習、着衣水泳、AEDによる救急救命講習などが盛り込まれています。食事は災害時に出される非常食と同じもので、日本赤十字社播磨町分区分のボランティアの協力で炊き出しが行われました。参加した子どもたちは、2日間元気に活動し、日頃できない体験を通して命の大切さを学びました。



▲自分で作るダンボールテントが寝床です

播磨町夏まつり、2万人でにぎわいました

毎年恒例の播磨町夏まつりが、7月26日(土)に浜田球場を中央会場として播磨町総合体育館とその周辺で催されました。

新しいアトラクションとしてビーチサンダルを蹴り投げて、飛距離を競う競技も開かれました。タコのつかみどりや竹とんぼづくり、水道水とミネラルウォーターの「きき水」、リサイクルガラスコップの絵付け(サンドブラスト)など、参加する夏まつりに多くの人が集まりました。



▲太鼓あり、ダンスあり、バンド演奏ありのステージ



▲夕暮れから、人も増えてますますにぎわいます



▲今年も真夏の雪がふりました



▲スポーツ体験も人気です